（様式１）

平成２５年度　学校経営計画書及び学校評価計画書

石川県立内灘高等学校
校　長　　井上　重昭

１　教育目標

①自主性、創造性に富み、心身ともに調和のとれた気力にあふれる有為な人材を育成する。
②基本的な習慣を身につけることによって、規則正しい学校生活を送ることのできる生徒を育てる。
③確かな学力を身につけ、希望の実現に継続的に努力する人間を育てる。
④責任とモラルを重んじ、他者を思いやる心豊かな人間を育てる。
⑤ふるさとに誇りを持ち、積極的に地域社会に貢献する人間を育てる。

２　中・長期的目標

（１）学校の現状

①近年、丁寧な生徒指導により、規律、マナー等の向上が見られ、学校全体に落ち着きが見られるようになった。しかし、一人ひとりの生徒に、より適切に対応するために、生徒とのコミュニケーションを深めるとともに、保護者や専門機関と連絡を密にすることが求められている。また、人間関係をうまく築けない生徒が多くいるので、コミュニケーション能力の向上が重要である。
②基礎的な学力や授業マナーが身につかないまま入学してくる生徒が多いので、学校設定科目「内灘ベーシック」による基礎力の定着や「授業マナー指導」を徹底することで授業態度の向上に成果をあげつつある。今後も授業態度の指導を強化しながら、学力の定着・学習意欲の向上を図るために授業改善を推進する必要がある。
③キャリア教育の視点に立った進路指導を推進し、学年が上がるにつれて進路意識も高まり、学習態度や生活態度の向上に結びついている。今後もキャリア教育の一層の充実を図るとともに、早期に進路意識に目覚める手だてを工夫する必要がある。
④現在、部活動を活性化するために、様々な取組をしているが、加入率が少しずつ向上しているものの、継続した活動をしている部（同好会）が少ない。今後は、加入率とともに定着率を上げることが課題である。
⑤内灘町にある学校として、地域社会との連携・協働を図った教育活動を推進しており、少しずつ地域から認められるようになってきている。町をあげて本校を支援しようという声が多くなっており、今後一層、地域社会から信頼される学校となるよう努力する必要がある。

（２）生徒に関する中・長期的目標

①規律・マナー、挨拶の励行を実践し、自身のことは自身で処理できる生徒を育成する。（基本的生活習慣等の確立）
②学習の基礎・基本を身につけ、自ら学ぼうとする意欲を持った生徒を育成する。（基礎学力の養成）
③自分の進路を真剣に考え、将来に夢や希望を持つ生徒を育成する。（進路意識の高揚）
④部活動や課外活動に積極的に参加し、学校生活における充実感や達成感を体得させる。（自己肯定感の高揚）
⑤周囲の人と理解し合って、豊かな人間関係を築いていける生徒を育成する。（コミュニケーション能力の育成）

（３）教職員・学校組織等の望ましい在り方

①責任感や規範意識が求められる社会性を育むため、規律、マナー指導の充実に努める。
②幅広い学力層の生徒たちに対応して、基礎基本の定着を第一としながら、必要に応じて発展的学習内容を施す授業の工夫に努める。
③進路指導に関する各学年の年間計画を理解し、機会あるごとにキャリア教育に即した指導を重ね、早期の進路意識醸成に努める。
④部活動から得られる様々な教育効果（達成感や満足感からもたらされる自他への肯定的影響）を目指し、粘り強い継続的指導に努める。
⑤開かれた学校として地域との交流を促進するため、ＰＴＡ並びに地域社会や関係機関との連携強化に努める。

３　今年度の重点目標

①基本的な生活習慣の確立を図るために、個々の生徒の実態を把握し、一人ひとりに対する適切な生徒指導に努める。
②基礎学力の定着とともに発展的学習を取り入れることにより、多様な生徒に対して向学心及び学習意欲の喚起を図る。
③早期に進路意識の高揚を図るため、適宜、具体的な進路情報の提供と、志望進路実現のための支援体制及び支援内容の充実に努める。
④保護者・地域社会との連携を深め､異年齢間のコミュニケーション能力の向上を図りながら課外活動やボランティア活動等を通じ、地域に貢献する態度を養う。